

- ▶ 文京区では、文京区地球温暖化対策地域推進計画（令和2年3月策定）におけるアクションプランの中で、「区の率先行動」の一つとして、区有施設への環境に配慮した資材等の活用を進めるとし、区有施設に木材を利用することで、二酸化炭素の排出量削減を推進してきました。また、新たな取組としてカーボン・オフセットを導入し、区の二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。
- ▶ 令和3年度においては、以下の取組を実施しました。
  - ・ 包括連携に関する覚書を締結している熊本県が販売するオフセット・クレジット（J-VER）を購入しました。
  - ・ 令和2年度に学校施設建設整備基金に積み立てた本譲与税財源の一部を活用し、区立学校校舎内の内装木質化を実施しました。
- ▶ 令和4年度においては、現在の取組に加えて、新たな活用方策の検討も進めて行くこととしております。

## □ 事業内容

### 1 オフセット・クレジット（J-VER）の購入

- ・ 本区と包括連携に関する覚書を締結している熊本県が販売するオフセット・クレジット（J-VER）を購入することで、区の二酸化炭素排出量を削減するとともに、森林整備に係る取組を支援しました。

【事業費】 2, 200千円（うち譲与税2, 200千円）

【実績】 400 t相当の二酸化炭素排出量削減

### 2 区立学校校舎内の内装木質化

- ・ 築30年以上が経過している区立学校について、快適な教育環境とするため、国産木材を活用して内装等を改修しました。

【事業費】 11, 184千円（木工事に係る部分のみ）  
（うち2年度積立分の本譲与税充当額5, 592千円）

【実績】 区立小学校の体育館の床（1校）・腰壁（1校）の木質化



（事業2：区立礪川小学校の体育館）



（事業2：区立金富小学校の腰壁）

## □ 事業スキーム

- 1 熊本県の販売するオフセット・クレジット（J-VER）を購入することで、森林整備に係る取組を支援しました。
- 2 築30年以上が経過している区立学校について、快適な教育環境にするため、内装等を改修する中で、国産木材を活用しました。

## □ 工夫・留意した点

- ・ 二酸化炭素排出量の削減につながる実効性のある施策を率先して取り組むに当たり、カーボン・オフセットは新たなアプローチとなりました。
- ・ 内装を木質化することで、木材の循環利用だけでなく、児童・生徒が日常的に木材と触れ合う場となり、利用者等の森林環境の意識醸成に繋がりました。

## ◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	19,154千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	240,069人
⑤林業就業者数（※4）	6人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、  
※4：「H27年国勢調査」より